

警固界限アウトリーチ・相談窓口業務に係る企画提案公募 審査基準書

区分(配点)		審査項目(配点内訳)	基準
1	基本方針 (15点)	①趣旨、目的の理解度(5点)	・本事業の趣旨への理解が深く、事業目的と合致した運営方針となっているか
		②経営基盤(10点)	・円滑な業務遂行に必要な経営基盤を有するか
2	実施体制 (30点)	③相談体制(人員・シフト)(10点)	・仕様書の要件を満たす資格等を有するスタッフによる、効果的な相談支援が可能な人員配置となっているか
		④相談員の資質向上(5点)	・円滑な相談支援のための相談員間の情報共有や資質向上のための取組みは具体的で十分か
		⑤個人情報の管理・取扱い(5点)	・相談記録等の管理や文書(電子メールを含む)の誤送付防止措置など、個人情報保護に関する適切な管理が徹底されているか
		⑥緊急時の対応(5点)	・緊急対応を要する相談を受けた場合などにおいて、適切に対応できる体制がとられているか
		⑦費用積算(人件費含む)(5点)	・人件費が適切に配分され、その他事業実施のための費用が社会通念上適切に積算できているか
3	業務実績 (10点)	⑧業務実績(5点)	・困難を有することも・若者への相談業務実績を有しているか
		⑨業務受託実績(5点)	・こども・若者支援に関して国又は地方公共団体からの業務受託実績があるか(特に当該事業に類似した事業)
4	実施方法 (40点)	⑩アウトリーチ支援(10点)	・相談スペースへの誘導を意識した実施方法となっているか ・トラブルへの対応方法は適切か
		⑪相談スペースの設置・運営(10点)	・相談スペース訪問の心理的ハードルを下げるための工夫は具体的・現実的かつ魅力的か ・利用登録手続き方法(未成年を含む)は適切か
		⑫LINE 相談窓口の運営(10点)	・相談員からの情報発信を含め、県 LINE 公式アカウントを効果的に活用できているか
		⑬関係機関との連携(10点)	・関係機関との連携方法は、具体的で効果が見込めるか
5	独自提案 (5点)	⑭独自提案(5点)	・提案に独自性があり、事業実施に効果的か
採点合計(100点満点)			